

7 その他全般的事項

- <仏教学部（通信教育課程）>
- <歴史学部（通信教育課程）>
- <文学部 日本文学科（通信教育課程）>

（１）設置計画変更事項等

【該当なし】

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

- a 委員会の設置状況 教育推進機構会議（平成24年4月1日設置） ※規程は別添
- b 委員会の開催状況 平成24年度年18回開催。教員出席者数（延べ）228名。
- c 委員会の審議事項等
 - ・教育課程の編成に関する事項
 - ・教育開発・改善に関する事項
 - ・宗教教育センターに関する事項
 - ・国際交流センターに関する事項
 - ・教育推進機構の人事（実習指導講師，外国人契約講師，専門員等）に関する事項
 - ・教育推進機構の事業計画および予算編成に関する事項
 - ・教育推進機構の自己点検・評価に関する事項
 - ・教育推進機構に関連する諸規程の改廃に関する事項
 - ・その他教育推進機構に関する必要な事項

② 実施状況

a 実施内容

- 1) 学生に対する授業アンケート
- 2) FD研究会の開催
- 3) 研修会等への参加支援
- 4) e-learningの推進
- 5) 新入生基礎学力調査（国語）
- 6) 英語基礎力調査
- 7) 入学前教育
- 8) 刊行物の発行

b 実施方法

- 1) 全学規模で各期末に実施。対象は、全教員（専任・非常勤）。
- 2) 取組事業終了後開催し、成果・課題について検討。
- 3) 専任教員を対象にFD関連研修会等の情報発信と参加支援。
- 4) 教授法開発としてのe-learning利用の推進。
- 5) 入学時における基礎学力調査（国語）とアンケートによる学習実態調査の実施。
- 6) 入学時・2回生進級時における英語基礎力調査の実施。
- 7) 入学予定者に対する自宅学習課題の提供・添削と授業体験の実施。
- 8) 各取組の成果・分析結果を取りまとめ、刊行物として発行。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) ③学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a-1) に同じ。
- 2) FD研究会を2回開催。
「学ぼうmanaba～学生をその気にさせるe-Learning～」40名、
「新入生基礎学力調査結果～新入生アンケートからみえてくること～」208名
- 3) 教員参加研修会：13研修会。参加教員数（延べ）：13名。
- 4) 春学期：利用教員71名、151講座、受講延べ人数6,092名。
秋学期：利用教員75名、154科目、受講延べ人数5,546名。
- 5) 【受験者数】1,527名（実施率98.4%）
- 6) 【受験者数】第1回目：1,530名（実施率98.9%）、第2回目：1,315名（実施率84.1%）
- 7) 【自宅学習課題提出者数（延べ）】 217名（実施率80.9%）
【授業体験参加者数（延べ）】 計3回：553名（実施率71.5%）
- 8) 『FD Review』（全取組の報告集）、年1回発行700部制作、学内外へ配布。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 1) 授業アンケート集計結果の分析を行い、結果報告会を開催し現状把握を行った。また、分析結果は刊行物にて学内外へ公表した。
- 2) 取組内容の点検、ならびに実践（ワークショップ）に基づく授業改善への反映を行った。
開催内容は刊行物にて学内外へ公表し、情報共有を図っている。
- 3) 研修会報告を刊行物やホームページ上で学内外へ公表した。また、効果を得た研修会を学内でも実施し、情報発信・共有化を図り各取組への反映を行った。
- 4) 実施内容と結果の分析を行い刊行物にて学内外へ公表する。
- 5) 新入生基礎学力調査の結果分析を行い、学内向けに結果報告会の開催、刊行物による情報共有を図った。
また、分析結果に基づき初年次の入門ゼミ授業に反映させた。
- 6) 入学時・2回生進級時の英語基礎力調査と結果の分析を行い、刊行物による情報共有を図った。
また、結果に基づく習熟度別クラス編成による英語授業を行った。
- 7) 学部学科別自宅学習課題の提供と授業体験の実施。
- 8) 刊行物による全学的な情報共有ならびに意識の醸成。学外・高等教育機関への広報。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- 1) 春学期 実施教員数(実施率)：専任205名(93.2%)、非常勤353名(84.0%)
 実施講座数(実施率)：1,055科目(82.75%) 実施時期：平成24年7月14日～平成24年7月27日
- 秋学期 実施教員数(実施率)：専任186名(89.9%)、非常勤310名(76.9%)
 実施講座数(実施率)：965講座(73.16%) 実施時期：平成25年1月7日～平成25年1月24日
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- 全体の集計結果の分析を行い、結果報告会を開催し現状把握を行なった。特に入門ゼミに関しては、各学部学科へ学科毎の分析結果を返却し、現状把握およびカリキュラム再編の検討材料として提供した。また、総合的な分析結果は刊行物にて学内外へ公表しているが、個別教員の結果については公表していない。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- (別紙のとおり)
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表時期
- I. 平成25年5月末公表予定 『佛教大学自己点検・評価報告書2011』(大学基準協会認証評価受審用)
- II. 平成25年3月1日公表 『佛教大学自己点検・評価活動報告書2011』
- III. 平成25年3月1日公表 『佛教大学教育研究活動年報(2011年度版)』
- b 公表方法
- I. ホームページ上に公開し、関係機関へ冊子を配布予定(大学基準協会からの評価結果を含む)。
- II. 大学図書館に配架。
- III. 大学図書館に配架。
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・公益財団法人大学基準協会において認証評価を受審するため、学内自己点検・評価結果を取りまとめた「自己点検・評価報告書」を平成24年4月に提出し、平成24年9月の実地調査を経て、平成25年3月に同協会の大学基準に適合していることが認定された。
 - ・認定期間は、平成25年4月1日～平成32年3月31日。
 - ・なお、努力課題6点および改善勧告1点が付されたため、その改善報告書の作成および提出を平成28年7月末までに行う予定である。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成 25 年 6 月 30 日)

(別紙)

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成 22 年 4 月に通学課程開設とともに、通信教育課程に仏教学部仏教学科(入学定員 300 名)、文学部日本文学科(入学定員 300 名)、歴史学部歴史学科(入学定員 150 名)および歴史文化学科(入学定員 300 名)を既設の文学部人文学科からそれぞれ改組開設し、その設置の趣旨・目的を達成すべく学生募集を開始した。

1. 届出申請に基づき、「大学案内」、「入学要項」、学部学科の紹介冊子、あるいは大学ホームページ等を通して設置 3 年目の 4 月入学に向けて学生募集を実施した。通信教育課程全体における「入学要項」の総請求件数は平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの期間で約 27,000 件(発送実数 26,480 件)の請求依頼があった。現段階ではその資料請求者のうち、仏教学部、文学部日本文学科、歴史学部に入学者志願された件数および詳細状況の確認までは把握できていない。
2. 学部開設時には、通学課程と共にシンポジウム・講演会等を開催して多数の一般参加者を集めた。通信教育課程では、学生募集ならびに教員の研究成果を社会に発信し、在籍者の学修機会の延長と、広く一般の方への学びの機会を提供することを目的として企画している『BUまなび隊』を開催している。平成 24 年度[9 月～1 月開催]は 4 都市で 4 回の講演会と会場によっては入学説明会を実施し、1 年次入学ならびに編入学志願者の参加もあった。更に昨年は、著名人を講師に招き通信教育課程開設 60 年記念シンポジウムも開催し、多くの参加者を集め、学生募集の一翼となった。
3. 開設した学部学科の通信教育課程への入学志願書受付期間(前期生)は、既存の他学部と同様に、平成 25 年 4 月 15 日までとし、5 月 1 日現在の 1 年次への新入学学生数の結果は、表 1 のとおりである。また、今年度(平成 25 年度)も後期生の入学志願書受付を平成 25 年 9 月 1 日から 10 月 15 日までの期間で入学募集を行う予定である。

〔表 1〕

学部	学科	入学定員	前期 4 月 1 日付 (1 年次入学生)	入学定員充足率
仏教学部	仏教学科	300 名	13 名	4.3 %
歴史学部	歴史学科	150 名	22 名	14.7 %
	歴史文化学科	300 名	11 名	3.7 %
文学部	日本文学科	300 名	20 名	6.7 %

4. 通信教育課程全体の入学動向をみると1年次からの入学者は減少傾向が続いている。しかしながら、大学や短期大学を卒業し、更なる学習を求めて編入学する学生や生涯学習の時代を迎え、専門性や学術性の高い学習機会に関心を持つ社会人編入学者の増加は顕著である。開設4年目を迎えた平成25年度の入学者は増加している。

なお、平成25年度の2年次編入学ならびに3年次編入学者数(課程本科生を除く)は、次の表2のとおりである。

〔表2〕

学部	学科	前期 4月1日付 (2年次入学生)	前期 4月1日付 (3年次入学生)	合計
仏教学部	仏教学科	2名	19名	21名
歴史学部	歴史学科	1名	104名	105名
	歴史文化学科	0名	16名	16名
文学部	日本文学科	0名	85名	85名
合計		3名	224名	227名

5. 開設した学部学科の教育課程の特色を重点に、それぞれに設置趣旨・目的を達成できるよう教育環境を充実し、教学上3つの方針であるディプロマポリシー(学位授与の方針)、カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)、アドミッションポリシー(入学者の受け入れの方針)に沿って、グローバル社会に対応できる資質・能力を備えた人材の育成を果たしていきたいと考える。